



おばちゃん ありがとう



国 籍 中国
職 種 プラスチック成形
実習実施者 株式会社土田化学
監 理 団 体 情報ベンチャー
協同組合

梁 恩 廷
LIANG ENTING

この会社に来た初日に会社の皆さんの前で自己紹介をしました。興奮と緊張の気持ちで顔が熱くなりました。その時、隣に立っていたおばちゃんが、私の気持ちを分かってくれたようです。笑顔で「頑張ってください」と言ってくれました。このことは私の心に深く印象が残っています。

おばちゃんは今年72歳です。彼女は私たちに「おばちゃん」と呼ばせています。でも、私達は中国語で「おばあちゃん」と呼んでいるのです。これは絶対秘密です。

夏になると、おばちゃんは自分で植えたスイカやトマトなどを持ってきて、みんなで一緒に食べます。本当に甘くて涼しい夏を過ごせました。

中国の春節の日、おばちゃんが「今日のお昼ごはんは、私が用意してあげるよ」と言ってくれました。休憩室に入ってみたら大きなお弁当箱がありました。とても綺麗な風呂敷で包んであり、蓋を開けると豪華に飾られたご飯が現れました。このご飯の名前は「ばら寿司」です。これは十種類以上の食材で作られていて、それぞれの食材は作り方が違うので、過程はかなり

複雑でしょう。おばちゃんは鮮度を確保するために、朝5時から作り始めてやっと完成したそうです。私達に日本のおいしい物を味わってもらうために、大変工夫をしてくれました。私たちはとても感動しました。これは本当に一番おいしい料理だと思いました。

おばちゃんは畑作業のこともよく教えてくれます。私達は色々なことを教わって、とても勉強になりました。

そんなおばちゃんに感謝の気持ちを持って、何かやりたいなと思っていました。ある日、彼女と喋っている時、彼女は週末に畑仕事をやると言いました。それを聞いて私達はお手伝いに行きたいと考えました。そして土曜日の朝6時に自転車で出かけました。しかし、おばちゃんの家はどこか聞いてなかったことに気が付きました。大体の方向しか分かりません。1時間位探しましたが分かりませんでした。諦めかけた時、突然見慣れた姿が目に入りました。帽子をかぶっていて確かではありません。彼女の近くに寄って「おばちゃん！」と呼んでみました。

「はい」と答えた。やっぱりおばちゃんだ！本当にラッキーだった。おばちゃんも嬉しそうにしてくれていました。「丁度良い時に来てくれたね」有名な丹波の黒豆の苗が倒れないようにヒモで支える作業をやっていました。簡単に見える作業も注意することがたくさんあります。みんなで力を合わせて作業したので、早く終わることができたとおばちゃんはとても喜んでくれました。

この様な事があって、益々日本が好きになりました。だから、もっと日本語の勉強を頑張っていて、日本語能力検定N2以上に合格したいです。そして多くの人達と話しをして、日本の良いところを吸収したいと思っています。